



2024

学校だより **本荘** *Smile*

令和6年度 第31号
令和6年11月11日
熊本市立本荘小学校
校長 西川 英臣

150周年に向けて 花時計プロジェクト進行中。



場所は5年生教室。ゲストティーチャーが3人おられます。何の授業かといいますと、5年生がチャレンジしています、夢体験事業「花時計プロジェクト」の授業の1コマです。

こども文化会館の支援を受けて、進んでおりますこのプロジェクト、何をするのかというと150周年に向けて、記念になる花時計をつくろうとしているのです。

でも、こどもだけで花時計ができるわけありません。そこで夢体験事業に申し込んで、資金を援助してもらったのです。しかし、資金を準備してもらったからといって、完成するわけではありません。それに、この体験事業はこどもたちが自分たちの手で体験を通して夢を実現するというコンセプトです。だから、自分たちできることは何かということで、土台を作っていただく、「林田エクステリア」さんのお二人と時計を準備していただく「明福堂」の上野さんに来ていただいて、「どんなことができるのか？」を一緒に考えてもらったのでした。

基本のデザインは、担任の井上先生と子どもたちでアイデアを出して、林田エクステリアさんに確認してもらい、原案となる設計図を作ってもらっています。この授業の中で、こどもたちは、「絵が描けるのか?」「タイルを貼ったりできるのか?」といった自分たちできることを提案していきましました。林田さん方、上野さんともに素晴らしい人格者で、こどもたちのびっくりするような発想にもていねいに対応をしていただきました。人の人格のすばらしさは、こんなときに発揮されるのだなあと感じしきりの校長先生でした。(裏面に続きます)

また、この日はこども文化会館のスタッフの方々にも来ていただき、こどもたちの主体的な学びを実際に見ていただきました。「こどもたちがアイデアを出してつくってもらう」でも、コンセプトは達成できるような気もしますが、記念の花時計なので、こどもたちの手が入ることが重要であると考えます。また、150周年という大イベントですので、来年度の全校児童のかかわりも重要になってくると考えています。来年度6年生のこどもたちは、しっかりとそこまで考えてくれているのです。そういったこどもの考えや発想をいかした記念のモニュメントとして花時計が完成すればうれしいと思う校長先生なのでした。工事の時期は来年の1月の予定です。こどもたちはさらに具体化したデザイン案を考えています。完成が楽しみです。(校長)

校長先生の虫眼鏡

「目指せ紅白歌合戦!

がんばれ不知火鈴香(しらぬいすずか)さんとえるさんりんさん」

秋祭りでのスナップです。歌のステージをしてくださった保護者の濱田鈴香さん。3年生の濱田えるさんのお母さんであり、竹中りんさんの祖母でもあられます。歌も人気上昇中とのこと。ぜひ、地域でも応援して紅白歌合戦を目指していただきたいですね。

